

平成 27 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016 年 3 月 29 日

言語社会専攻長  
日本語・日本文化専攻長 殿  
To Dean of Studies in Language and Society  
To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語講座・教授
氏名 Name	真嶋潤子
専門分野 Academic Field	日本語教育学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	外国にルーツのある児童生徒への複数言語能力の研究
<p>&lt;研究目的と継続的課題&gt; 日本の言語教育政策における喫緊の課題である「日本語を母語としない児童生徒への言語教育」のあり方を考えるために、平成21-23年度（24年度まで繰越）に行ってきた科研費による研究成果を基に、発展的継続型の科研費による研究（平成24-28年度）を行ってきている。</p> <p>&lt;本年度の進捗&gt; 平成27年度の継続として引き続きK小学校での二言語アセスメントと授業観察を行った。アセスメントの音声データを文字化し、分析した。その縦断研究の結果を、下記のように学会等で発表し、発信している。 今年度から新しく調査の可能性のある別の市の小学校を（先方の要請を受けて）訪問し、管理職と日本語担当教員との相談、授業観察と、中国語を母語とする留学生を派遣して支援とアセスメントを行った。</p> <p>&lt;成果報告・発信&gt; 研究成果を以下のような国内外の学会で発表した。他に、講演会を3回行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著書分担執筆（共著）Tomozawa, A, and <u>Majima, J.</u> “Chapter 30: Bilingual Education in Japan: Slow but Steady Progress.” In O. Garcia et al. (Eds.) (2015) <i>Handbook of Bilingual and Multilingual Education</i>, Blackwell Publisher, 493-503. （2015年5月）</li> <li>・学術論文（単著）真嶋潤子「日本語を母語としない年少者への言語教育を考える-大阪府下の公立小学校での小学生への縦断的調査研究より-」『ことばと文字』5号 くろしお出版（2016年3月）pp.104-115</li> <li>・講演「CEFR とその応用 -大阪大学外国語学部の経験から-」2015年ホーチミン市日本語教育国際シンポジウム事前講演会（2015年9月18日 於：ホーチミン市師範大学、ベトナム）</li> <li>・口頭発表（単独）「文化的・言語的に多様な子どもたち（CLD 児）の二言語リテラシーの発達要因-大阪の小学校における事例研究より-」『ホーチミン市日本語教育国際シンポジウム』（2015年9月19日 於：ホーチミン市師範大学、ベトナム）</li> <li>・口頭発表（共同発表）<u>真嶋潤子</u>・<u>櫻井千穂</u>「公立小学校で学ぶ CLD 児の二言語能力の発達 -「対話型アセスメント」を利用した5年間の調査報告-」2015年度日本語教育学会秋季大会（2015年10月11日 於：沖縄国際大学）『2015年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.194-199</li> <li>・ポスター発表（共同発表）<u>真嶋潤子</u>・<u>櫻井千穂</u>「公立小学校で学ぶ CLD 児の2言語リテラシーの縦断研究-音読行動から見た発達を中心に-」子どもの日本語教育研究会第1回大会（2016年3月26日、於：東京女子大学）</li> </ul>	